

9月中旬 ~ 翌年1月末（4カ月半）

翌年2月 ~ 5月中旬（3カ月半）

- ①敗因分析
- ②R2・3過去問

・出題分析・自己分析により今後の勉強の方向性を明らかにする。

③総まくり講座→過去問A Bランク（1科目ずつ）

・1科目ずつ、総まくり講座→過去問講座という流れで受講する。Cランク過去問は後回しでも構わない。

労働法速修→（重問100選）→過去問A Bランク

・基本7科目と並行して勉強する

上三法の短答対策（総まくりテキストも使う）

短答が苦手なら、年内から短答対策をスタートする。ただし、上三法の総まくり講座を先に終わらせる。知識に依存しない解法の習得も試みる。

④基本7科目+選択科目の総復習（複数科目を同時並行）

・3月中旬～4月初旬の全国模試と5月中旬の本試験の2段階に分けて、ピーキングをする。
・過去問A Bランクの2周目に入り、答案の水準を回復・維持するとともに、向上させる

基本7科目+選択科目の過去問Cランク1周目

・余裕があれば、Cランク過去問の問題文・答案に目を通して解答筋と論証をざっと確認する

短答対策（総まくりテキストも使う）

試験直前に全問題を復習することはできないことを踏まえて、過去問を使わないで総復習をすることができるように工夫するのが望ましい（総まくりテキストにメモするなど）。

実力を底上げする段階

→選択科目を除き、1科目ずつ短期集中的に勉強する

実力を維持・回復する段階

→複数科目を同時並行して勉強する

これまで勉強してきたことの反復がメイン